

## 事業報告書

1. 空間造形デザインに関する調査研究に対する助成を5件行った。
2. 空間造形デザインに関する国際交流に対する助成を1件行った。
3. 空間造形デザインの若手芸術家の在外研修に対する助成を2件行った。
4. 第13回造形デザイン賞を公募し顕彰を12件（最優秀賞1件  
優秀賞1件 入選3件 佳作7件）行った。
5. 空間造形デザインに関する講演会等に対する協賛を2件行った。

# 貸借対照表

平成19年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度(注)	増 減(注)
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,156,280		
未収金	3,000,000		
流動資産合計	6,156,280		
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	200,000,000		
投資有価証券	201,000,000		
基本財産合計	401,000,000		
(2) 特定資産			
助成事業積立定期預金	10,000,000		
特定資産合計	10,000,000		
(3) その他固定資産			
什器備品	6,164,185		
その他固定資産合計	6,164,185		
固定資産合計	417,164,185		
資産合計	423,320,465		
II 負債の部			
負債合計	0		
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	401,000,000		
指定正味財産合計	401,000,000		
(うち基本財産への充当額)	401,000,000		
(うち特定財産への充当額)	0		
2. 一般正味財産	22,320,465		
(うち基本財産への充当額)	0		
(うち特定財産への充当額)	10,000,000		
正味財産合計	423,320,465		
負債及び正味財産合計	423,320,465		

(注)財務諸表に対する注記14(その他②)により、記載を省略している。

# 正味財産増減計算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度(注)	増減(注)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	9,799,999		
基本財産受取配当金	1,440,000		
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	10,925		
③ 受取寄付金			
受取寄付金	23,000,000		
④ 雑収入			
受取利息	7,470		
経常収益計	34,258,394		
(2) 経常費用			
① 事業費			
助成金支出			
研究助成費	7,493,000		
国際交流費	1,000,000		
奨学援助費	3,600,000		
ユニオン造形デザイン賞	2,010,000		
その他事業費	1,423,910		
助成選考推進費	6,825,766		
事業費計	22,352,676		
② 管理費			
役員報酬	2,400,000		
給与・手当	1,650,000		
業務委託費	4,700,000		
旅費交通費	607,960		
通信運搬費	115,640		
印刷製本費	932,190		
光熱水道費	37,800		
賃借料	630,000		
保険料	25,200		
諸謝金	350,000		
雑費	196,976		
事務用品費	60,656		
手数料	57,960		
管理諸費	2,000		
諸会費	111,000		
什器備品賃借料	529,200		
管理費計	12,406,582		
経常費用計	34,759,258		
当期経常増減額	-500,864		
当期一般正味財産増減額	-500,864		
一般正味財産期首残高	22,821,329		
一般正味財産期末残高	22,320,465		
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0		
指定正味財産期首残高	401,000,000		
指定正味財産期末残高	401,000,000		
III 正味財産期末残高	423,320,465		

(注)財務諸表に対する注記14(その他②)により、記載を省略している。

# 財務諸表に対する注記

## 1. 重要な会計方針

当期から、「公益法人会計基準」(平成16年10月14日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ)を採用している。

### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ① 投資有価証券のうち満期保有目的の債券は償却原価法を採用している。
- ② 投資有価証券のうち市場価格のない株式は移動平均法による原価法を採用している。

### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産はない。

### (3) 固定資産の減価償却の方法

法人税法の規定による定率法によっている。  
ただし、貸借対照表の什器備品に記載されているのは美術品のため減価償却の対象外である。

### (4) 引当金の計上基準

債権の貸倒による損失に備えるため、①一般債権については貸倒実績率により、②貸倒懸念債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

### (5) リース取引の処理方法

リース取引はない。

### (6) 消費税等の会計処理

非課税事業者につき税込処理を行っている。

## 2. 会計方針の変更

有価証券の評価基準及び評価方法について、従来は総平均法による原価法を採用していたが、取引の都度、損益を確定するために今事業年度より投資有価証券のうち市場価格のない株式は移動平均法による原価法に変更した。  
なお、この変更による損益への影響額は、ない。

## 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、以下のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
<b>基本財産</b>				
定期預金	200,000,000	0	0	200,000,000
普通預金	200,000,000	0	200,000,000	0
投資有価証券	1,000,000	200,000,000	0	201,000,000
小計	401,000,000	200,000,000	200,000,000	401,000,000
<b>特定資産</b>				
助成事業積立定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小計	10,000,000	0	0	10,000,000

## 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
<b>基本財産</b>				
定期預金	200,000,000	200,000,000	0	0
投資有価証券	201,000,000	201,000,000	0	0
小計	401,000,000	401,000,000	0	0
<b>特定資産</b>				
助成事業積立定期預金	10,000,000	0	10,000,000	0
小計	10,000,000	0	10,000,000	0

5. 担保に供している資産  
担保に供している資産はない。

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高  
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什 器 備 品	6,164,185	0	6,164,185
合 計	6,164,185	0	6,164,185

(注)什器備品は美術品のため減価償却は行っていない

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高  
債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
未 収 金	3,000,000	0	3,000,000
合 計	3,000,000	0	3,000,000

8. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務  
保証債務等の偶発債務はない。

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	時価	評価損益
(外国公社債)			
ノムラヨーロッパファイナンスエヌバイ 満期日 平成38年4月10日	200,000,000	200,000,000	0
合 計	200,000,000	200,000,000	0

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高  
該当する補助金等はない。

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
該当する振替額はない。

12. 関連当事者との取引の内容  
該当する関連当事者はない。

13. 重要な後発事象  
重要な後発事象はない。

14. その他

- ① 当法人は、「公益法人会計基準の運用指針について」(平成17年3月23日、公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ、以下、「運用指針」)に定める大規模公益法人に該当しないため、キャッシュ・フロー計算書の作成を省略している。
- ② なお、運用指針1により、今事業年度は新会計基準適用初年度のため前事業年度の貸借対照表及び正味財産増減計算書の記載は省略している。
- ③ また、運用指針6により、特定資産、指定正味財産及び一般正味財産の新会計基準適用初年度の期首残高については、前事業年度末の貸借対照表を組み替えて算定している。

# 財 産 目 録

平成19年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金手元有高	278,220	
普通預金		
三井住友銀行/難波支店	959,876	
三菱東京UFJ銀行/心斎橋支店	1,918,184	
未収金		
投資有価証券(ノムラヨ-ロッパファイナンス エヌブイ)6ヶ月分の利金	3,000,000	
流動資産合計		6,156,280
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
定期預金		
三菱東京UFJ銀行/心斎橋支店	200,000,000	
投資有価証券		
外国公社債		
ノムラヨ-ロッパファイナンスエヌブイ	200,000,000	
株式		
(株)ユニオン 80,000株	1,000,000	
基本財産合計	401,000,000	
(2) 特定資産		
助成事業積立定期預金		
三井住友銀行/難波支店	10,000,000	
特定資産合計	10,000,000	
(3) その他固定資産		
什器備品		
美術品 ギマール作	787,475	
美術品 アールデコ鉄門	592,710	
美術品 茶器	1,900,000	
美術品 絵画	2,884,000	
その他固定資産合計	6,164,185	
固定資産合計		417,164,185
資産合計		423,320,465
負債の部		
負債合計 該当科目なし		0
正味財産		423,320,465

# 収支計算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
1、事業活動収入				
① 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	10,900,000	9,799,999	1,100,001	
基本財産配当金収入	1,600,000	1,440,000	160,000	
② 特定資産運用収入				
特定資産利息収入	0	10,925	-10,925	
③ 寄付金収入				
寄付金収入	23,000,000	23,000,000	0	
④ 雑収入				
受取利息収入	2,000	7,470	-5,470	
事業活動収入計	35,502,000	34,258,394	1,243,606	
2、事業活動支出				
① 事業費支出				
助成金支出				
研究助成費	7,500,000	7,493,000	7,000	
国際交流費	2,000,000	1,000,000	1,000,000	
奨学援助費	5,400,000	3,600,000	1,800,000	
ユニオン造形デザイン賞	2,000,000	2,010,000	-10,000	
その他事業費	500,000	1,423,910	-923,910	
助成選考推進費	7,150,000	6,825,766	324,234	
② 管理費				
役員報酬	2,400,000	2,400,000	0	
給与・手当	0	1,650,000	-1,650,000	
業務委託費	4,800,000	4,700,000	100,000	
会議費	20,000	0	20,000	
旅費交通費	480,000	607,960	-127,960	
通信運搬費	180,000	115,640	64,360	
消耗品費	10,000	0	10,000	
印刷製本費	1,500,000	932,190	567,810	
光熱水道費	38,000	37,800	200	
賃借料	630,000	630,000	0	
保険料	28,000	25,200	2,800	
諸謝金	500,000	350,000	150,000	
公租公課	10,000	0	10,000	
雑費	250,000	196,976	53,024	
事務用品費	60,000	60,656	-656	
図書資料費	15,000	0	15,000	
手数料	50,000	57,960	-7,960	
管理諸費	100,000	2,000	98,000	
諸会費	100,000	111,000	-11,000	
什器備品賃借料	504,000	529,200	-25,200	
事業活動支出計	36,225,000	34,759,258	1,465,742	
事業活動収支差額	-723,000	-500,864	-222,136	
<b>II 投資活動収支の部</b>				
1、投資活動収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
II 投資活動支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
<b>III 財務活動収支の部</b>				
1、財務活動収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
II 財務活動支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
<b>IV 予備費支出</b>	500,000	-----	500,000	
当期収支差額	-1,223,000	-500,864	-722,136	
前期繰越収支差額	0	6,657,144	-6,657,144	
次期繰越収支差額	-1,223,000	6,156,280	-7,379,280	

## 収支計算書に対する注記

### 1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金及び短期金銭債権債務を含めている。

### 2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	6,657,144	3,156,280
未収金	0	3,000,000
合計	6,657,144	6,156,280
次期繰越収支差額	6,657,144	6,156,280